

面白体験いろいろ

安城市埋蔵文化財センター ■□ ~4日、23~25日



大吉里の土器作り

子どもたちは楽しい夏休みの真っ盛り。海や山で遊んだり、旅行に出掛けたりする家族も多いでしょう。でも、身近な所でいろいろな体験ができます。中には夏休みの宿題のテーマにしなくなるのも、西二河両市の「面白体験」教室を紹介します。

刈谷市・夢と遊びの
科学体験館では、十四日、
「不思議の世界を体験し
よう」と題して、
小学校が主に近隣にある科学館の
細かい力をもつて、科学実験の
教室力などをもつて開催される。
たり、形にならなかったりする不
思議な性質を同志社大、工
学部の田代幹生教諭などと
生たちが教える。体験館の相

参考にご参加をひきつける
前半二時間、午後二時間の
後半二時間開催。参加費
無料。対象は小三・六年生
親子での参加可。定員は
回とも先着順。申込はな
ども直接申すか、FAX
1-87-62。園夢と学びの
科学体験館 0566(24)
0311

刈谷・夢と学びの科学体験館

24

催しにも注目

アート 多彩に

の「ナシ」を細胞相撲で戦わせるのが、そのお向かみ相撲は午後二時から五時まで、午前十一時と午後二時の二回開催。各回定員五人で、申しほみが必要。スタッフの高橋健太郎さん(三ツ星)は、体験を通じて楽しむながら行動力や発想力を伸ばしてほしいですね。

安城市安城町の市埋蔵文化財センターやは西宮まで三十三一(1972)年市内採集した土をもとに土器作りの教室が開かれる。胚生土器作りの方法で土器の製作についての特徴を説明。粘土をもろいにして輪を作り、積み上げてつぼやかめの工芸へ、へらや木の工具で模様を付ける。セメントで窯間に火を燃焼させる、屋外で焼いたり、参加者に渡される。

市民団体「安城城跡作興会」による「土器の会員」としてボランティア登場。山口市代表(山口)は「気軽に参加してほしい。」

◇夏休み塙田体験9月30日、西尾市吉良町9・30の後
場塙（あいじょう）の里予約が必要、高校生以上300円、中学生300円、吉良競場塙の里半價